

平成27年度（第2回）二宮町文化財保護委員会議 会議録

日 時 平成28年2月18日（木） 13:30～15:40

場 所 ラヂアン マルチルーム1

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、加藤孝次委員、
露木泰彦委員、山口眞弘委員
（事務局） 宮川教育次長、三浦生涯学習課長、小嶋生涯学習班長、
清宮主任主事、中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 1名

資 料 （1）平成27年度文化財保護関係事業および予算の進捗状況について
（2）平成27年度バーチャル郷土館の更新、史・資料受け入れ状況
（3）「二宮町の80年～生粋の“にのっ子”ふるさとを語る～」事業報告書
（4）にのみや町民大学「北条五代と小田原城について」事業報告

1、開会

2、あいさつ

3、議題

（1）平成27年度文化財保護関係事業および予算の進捗状況について

※事務局より資料説明。

（委員長）各事業の執行率について特に問題はないか。

（全委員）問題なし。

（委 員）埋蔵文化財試掘調査委託において、発掘調査1件とあるが、場所はどこか。また、どのような内容だったか。

（事務局）発掘調査は内輪遺跡において行った。以前同じ場所における開発の際、発掘調査を行い、溝が出た。今回試掘をして確認された掘り込みがその溝の延長である可能性があるため、発掘調査で確認してくださいと、県から指示が出た。しかし、今回の発掘調査では溝かどうかの確認はできなかった。

（委員長）包蔵地は町内に何ヶ所あるのか。また、どのように調査しているのか。

包蔵地だと思われる場所にて開発工事がされた際、横穴墓が出たが、きちんと調査されていなかったように思う。

また、遺物散布地だと思われる別の場所においても、調査された様子がなかった。

（事務局）包蔵地の台帳は1986年のものである。当時は包蔵地が71ヶ所あったが、合併したものもあり、現在は69ヶ所である。

(委員) 遺跡分布について、二宮町は早い時期から取り組んでいた。他の市町村は分布調査の予算を取っていなかったが、二宮町は予算を取り、自分や学生が町内の私有地や山林地帯においてもできる限り調査した。横穴墓についても、分布確認をした。当時としては充実した包蔵地台帳だった。台帳では土地を線で区切り、線内を包蔵地としているので、よく開発業者から、線の外だから届出なしで工事をしても良いかと言われる。しかし、線引きはあくまで目安であり、線の外側でも包蔵地として見る場合もある。もし、調査しているか疑問に思ったら教育委員会に連絡をした方が良い。

(委員) 既に工事を始めている場合でも、現況調査だけでもやっておくと良い。記録を残すことや、全体測量をしておく、後で役に立つ。

(委員) 二宮高校の相模人形芝居について、部員は現在何人くらいか。貴重な活動であり、文化財なので、教育委員会が支援できるところはして、継続してほしいと思う。

(事務局) 部員は昔よりは少なくなって10人くらいである。今年も民俗芸能のつどいで発表していただいた。

(2) 平成27年度バーチャル郷土館更新状況、史・資料受け入れ状況

※事務局より資料説明。

(委員) 寄贈された軽便鉄道の資料は、秦野市に写しを提供しているか。秦野市でも必要ではないか。

(事務局) していない。2年前に、二宮町、大磯町、中井町、秦野市合同で軽便鉄道の展示を特別に行ったが、普段から情報を共有している訳ではない。

(委員) 秦野市商工会議所の青年部はこの資料について把握しているか。同団体は、30年前に軽便の本を出している。

(事務局) この資料はどこにも公開していない。

(委員) 秦野市は軽便の資料を残そうと活動を始めたのが早かった。今でも熱心に資料を集めている。

(委員) 秦野市と軽便鉄道の関係で交流しているか。

(事務局) 今は交流がない。

(委員) 祖父が軽便鉄道の営業職だったが、写真が2~3枚ある程度だった。

(委員) 今回の寄贈の中に「湘南軌道株式会社の沿革と現状」という事業報告冊子があったか。

(事務局) マイクロフィルムにはあるが、今回は寄贈されていない。

(委員) 軽便鉄道の資料を見せていただいたことがある。10枚で1組の絵ハガキや切符、レール等が残っていた。

(委員) レールは教育委員会で保存している。

(委員) 小田原・熱海間の人車鉄道、軽便鉄道は文学作品に出てくるが、二宮・秦野間の軽

便鉄道はあまり出てこない。

(委員) 二宮・秦野間の軽便鉄道の映画が撮られており、その写真は秦野市にある。

(事務局) 今回の寄贈に限らず、世代交代をすると保管が難しい。湘南軌道の看板はご遺族が保管されている。

(委員) 代が変わっても資料がなくならないように、寄贈を受けなくてもそれらがどこにあるか、教育委員会が確認をした方が良い。

(3) その他

※事務局より「二宮町の80年～生粋の“にのっ子”ふるさとを語る～」の事業報告

(委員) ガラスのうさぎや戦後の混乱期について、もっと話したかったが、時間が足りず、消化不良な思いだった。統一地方選挙と外れ、町長選挙が11月になった経緯、昭和50年代の町議会活動、町政の動き等、昭和の政治について参加者の方々に分かっていたら良かったと思った。子ども時代や文化活動に付随した話もしたが、政治の話がメインになってしまった。

(委員) 話す時間が45分間では短いのではないか。機会を設けてまた開催してほしい。

(委員) 二宮町ゆかりのメロディーでは、二宮町民が作詞をした神奈川県民歌等をハーモニカ演奏した。神奈川県民歌の歌詞は一般公募で選ばれた。

(委員) 二宮音頭は最近聞かなくなった。

(委員) 盆踊りでは二宮音頭の曲が流れている。

(委員) 神奈川県民歌も二宮町民歌も最近は聞かない。

(委員) 地域の集まりにおいて、二宮町民歌、神奈川県民歌を歌う。

(委員) 自分の町の歴史を若い世代に伝えるということは我々の責任である。

※事務局より、にのみや町民大学「北条五代と小田原城について」の事業報告

(委員) 2時間のうち、20～30分は質問の時間と考えると当初はエピソードを5つか6つ入れようと思ったが、時間の関係で省略しながら話した。

戦国時代の北条氏支配が町民の物の考え方に生かされているのではないかということをお伝えしたいと思った。また、北条五代と大河ドラマの真田氏や徳川氏とのつながりが話せば良いと思った。

(委員) インパクトがある北条氏の小説があればNHKの大河ドラマに勧められる。

(委員) 2市10町が、北条五代を大河ドラマにしようと活動しているが、女性の活躍がなく、ただ領土を広げた合戦なのでドラマになりにくいのではないか。

4、閉会